

参加チーム及び競技役員 各位

第14回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会兼ジャパンオープン2022

実行委員会

新型コロナウイルス感染症における予防対策について

本競技会を安全に開催及び実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ為、参加者（競技者、競技役員、関係スタッフ、など全員）は【ライフセービング競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン<プール競技編>】を必ず熟読し、それらを確実に遵守することが求められます。ガイドラインに則り、以下の運用を行う予定です。具体的な運用については、詳細が決まり次第お知らせいたします。

皆様のご理解とご協力をお願い致します。

- 競技会前14日間における体調管理の記録を各自で付けておくこと（記録の提出は求めない）。
- 本競技会では、チーム帯同者などの人数制限は行わない。ただし、各チームにおいて感染対策を徹底すること。
- 参加者全員、新型コロナウイルスのウイルス検査を事前に実施し、来場前72時間以内の結果が陰性であることを確認すること。
- 競技会当日、必ず事前に受付を済ませること。その際に以下のことをチェックする。
  - ▶ 体温チェック（検温器や体温計は主催者にて準備する）。
  - ▶ 事前のウイルス検査結果を提示すること（来場前72時間以内の結果を基本とする）。
- 競技会場内には、体調チェックをクリアした者のみ入場を認める。
- 施設入場時、必ず手指消毒と検温チェックを行うこと。一旦施設外に出た場合は、再入場時に改めて手指消毒と検温チェックを行うこと。
- 施設入場時、特に朝の混雑する時刻帯においては、「分散入場」を呼びかける、又は入場する順番を実行委員会にてチームごとに指定する場合がある。
- 観客席の利用は以下を守ること。
  - ▶ 密集・密接とならないように利用する。
  - ▶ マスクを外した状態での大きな声での応援、大きな音の出る鳴り物の使用は禁止とする。
- 更衣室の利用は以下を守ること。
  - ▶ ロッカーは使用禁止とする。
  - ▶ マスクを着用し、1人ひとりが距離を置いて、また大きな声での会話はせずに更衣をすること。
- ウォーミングアップについて。
  - ▶ メインプール開放時は、各チームの利用時間帯を設ける場合がある。
  - ▶ 飛び込み練習等での順番待ちで並ぶ場合は、前後の感覚を最低1mは空けること。
  - ▶ 飛び込みプールでは種目・器材ごとにレーン分けを行い、その中でなるべく空いているレーンを利用すること。

- 招集について。
  - 既存の招集所は使用せず、プールサイドにて招集を行う（予定）。
  - レース直前までマスクを着用し、自身のレース直前（各レーンに入った時）にマスクを外し、外したマスクは袋や衣類ポケット等に収納すること。
- 公式掲示板は設置せず、Web 上に掲載する。
- 代表者会議は競技会の前日夜に、オンライン会議方式にて実施する（予定）。
- 式典（開会式・閉会式）は原則として実施しない。表彰式は各日の最後に実施予定とする。